

ごじらせ  
メイド  
処女は

辱  
されたい!



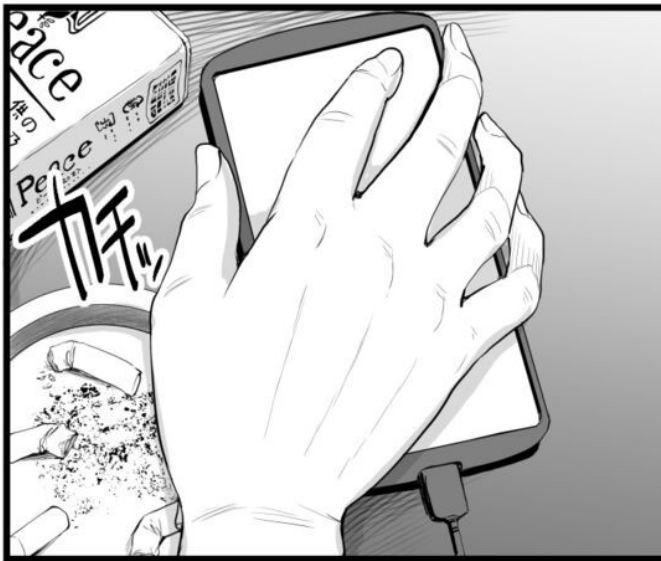


ごじらせ処女は

寝させたい!







そんな息子が  
成人を迎えた去年…

私は会社を売払い  
この高原の別荘地で  
始めたが…

妻は戻って来ては  
くれなかった…



私は日下部正人  
(くさかべまさと)  
歳は今年で46

IT革命などという言葉が  
華やかなりし頃  
私の立ち上げた会社は  
一躍業界大手になった

だが仕事にかまけて  
家庭を顧みない私に  
最愛の妻は愛想を尽かし  
息子を連れて出ていった

フグッ



あっ



家事の一切できない私は  
妻と別居してから  
いつもメイドを雇っている

そして隠居生活を送る  
山奥のこの家で雇った  
メイドの1人…  
それが…



おはよう  
霜野さん

でもそれが  
片付いてからで  
構わないよ

あっ…  
ありがとうございます  
…!!



おはようございます  
旦那さま…!!

朝食の方すぐにご  
用意致しますので

この子  
霜野 真優(しもの まゆ)  
18歳だ



それじゃあ  
お言葉に甘えて…

すぐにお洗濯  
片付けちゃいますね!

…とまあこんな具合に  
真面目で明るく…

まだ汚れを知らない  
純粋な女の子という感じの  
とても良い子で…

この子かもし  
自分の娘だったら…

可愛くて仕方がない  
だろうなんてつい  
考えてしまうほど…



ん？



おーこりやまた  
とんでもない  
落とし物が…

ぽろーん

しかも  
結構セクシーな…



イメージ的には  
ウチで先に長く  
勤めてくれてる  
花房さんの  
モノっぽいけど…

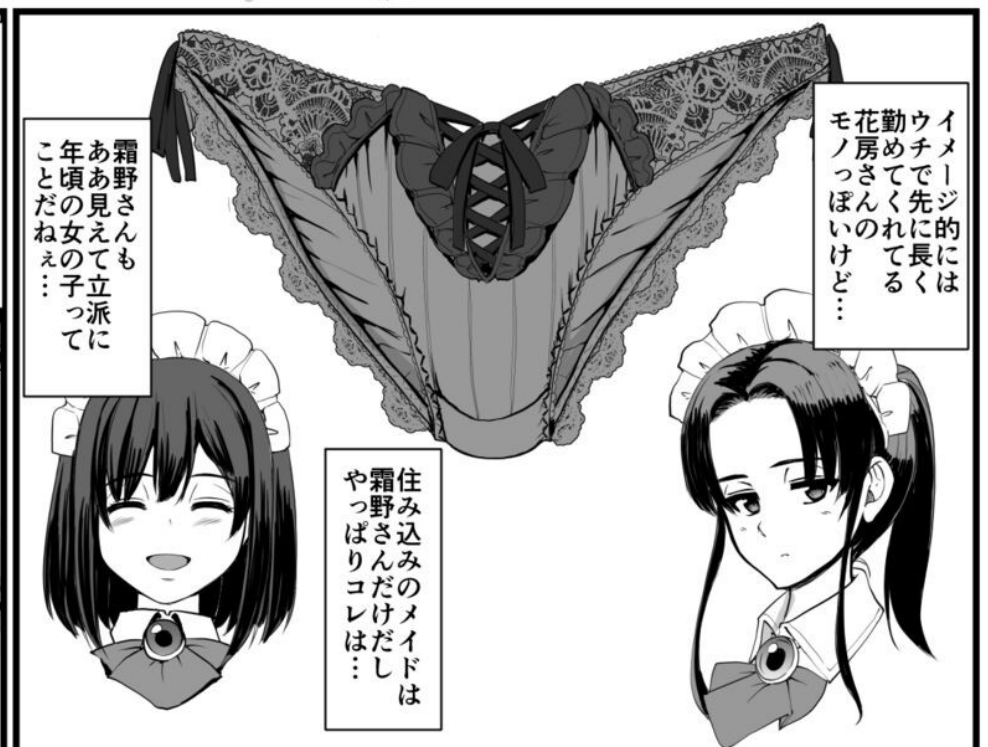
霜野さんも  
ああ見えて立派に  
年頃の女の子って  
ことだねえ…

変に声かけても  
今どきセクハラに  
なっちゃうよな…

とはいえコレに  
どうにも不自然だし…

こっそり  
洗濯機にでも  
戻しておくか…

住み込みのメイドは  
霜野さんだけだし  
やっぱりコレは…





アムニ

自分の娘に  
彼氏が居るって  
知った時の  
父親は……

こんな  
気持ちな  
のかも  
……



ちよっぴり  
寂しいというか  
……

しかしやっぱり  
コレを見せるような  
相手があの子にも  
居るってコトだよな……



メイド  
こじらせ処女は  
愛  
賤されたい!



はあー…  
作戦失敗かなあ…

思い切って  
エッチな下着  
買ってきたのに…

いい案だと  
思ったのになあ…

ぐん



ほんとう  
アンタ

あのオッサンの  
どろがそんなに  
イイわけ？



どうしたら旦那さまに  
もって女性として  
意識してもらえん  
ですかねえ先輩…

はー  
よくやるわねえ  
アンタも

いきなりエロパンツ  
見せつけるなんて  
ブツ飛んだ案が  
別としてどうかは

ははは



全部…

全部  
好きです…♡

キラキラ

キラ

キラ

キラ



えっ…  
ど…どこって  
言われても…

それは…その…

もっ

もっ

もっ

そりゃもちろん  
お金持ちなのは  
魅力だけども  
奥さんと正式に縁は  
切れて無いらしいし…

なにしろ  
アタシの父親と  
同年だよ？

アンタは若いし  
そこそこ可愛いんだから  
そんな泥沼にわざわざ  
足突っ込まずに  
もっと若い男の子と  
楽しく恋愛しながら

だって…なんか  
苦手なんです  
若い男の子って…

女子校だったせいかも  
しれないですけど…

友達の彼氏とか見てても  
子供っぽくて感情的で  
落ち着きがないし…

下心も見え見えだし…  
つまらない見栄張ったり  
自慢話ばっかりで…

その点旦那さまは  
大人の余裕に  
満ちてるっていうか…

やっぱり  
男性の魅力って  
そういう包容力だと  
思うんですよ…♡

落ち着いてて  
知的で優しくて…

アンタも  
あと5年したら  
嫌でもわかるわよ

えー別に  
美奈子先輩私と  
そんなに歳違わない  
じゃないですかー

アンタの歳ならまだ  
そんな火遊びでも  
充分楽しいかもね

まあ…  
アタシくらいの歳だと  
先の見えない恋愛は  
そろそろキツいけど…



ま  
愛人ポジでも良いなら  
手っ取り早く  
チンポでも啜えちゃえば  
あんなオジサン  
イチコロでしょ♪

でも私の居る屋間っから  
パコパコやるのは  
気まずいから勘弁してよね

せ…先輩っ！

さーて仕事仕事♪



それでは本日は  
これで失礼させて  
頂きますね

はい  
お疲れ様  
ゆっくりり休んでね



旦那さまに対する  
私のこの気持ち…

純粋な恋愛感情と  
言えるのかどうか  
実は私にも  
自信がない…



美奈子先輩の  
言ってる事は  
正しいんだ…

実際  
親子みたいな  
歳の差だし…

それに…



パッ

…たぶん



それは…



実は私には…

子供の頃から  
ちょっととした  
願望がある…



膝の上でお尻を  
叩かれながら叱られる  
「おしおき」をされたい  
っていう…

やだっ…！  
もうやだ  
ゆるしてえっ！

我慢なさいっ…！  
これも  
お嬢様のためです！

ちょっと他人には  
言えない願望…



体罰なんて無縁で  
優しく大切に育てられた  
私には…

その「おしおき」は  
なぜかとても  
魅力的に見えた…



きっかけは…  
幼い頃に見た  
アニメの…

魔法の国のお姫様が  
イタズラをパパに叱られて  
「おしおき」されるシーン…



穏やかな  
雰囲気一目惚れし：  
大人で優しい人柄に触れて  
日に日に想いは募り：

私はこの人に  
「おしおき」されたい：

そう思ったらもう  
止まらなかつた：

お尻を叩かれて  
羨をされたい：



それから数年：  
高校を出て  
メイドになって：

旦那さまに  
お会いして：

私のその  
秘めた願望は再び  
強く沸き上がった：



そのうちお仕事中にも  
こっそりオナニー  
するようになった：

旦那さまに見つかって  
「おしおき」されるのを  
妄想しながら：



子供の頃はただ  
なんとなく憧れていた  
「おしおき」だけれど：  
どうかっ  
お許しをっ…！

旦那さまあつ…！

ここに来てからはもう  
ほとんど毎晩のように：

旦那さまに抱えられ  
お尻を叩かれ泣いて謝る  
メイド姿の自分を  
想像してオナニーした：

ひとりエッチを  
覚える年頃には「おしおき」が  
性的興奮に直結するように  
なっていたから：



ベッドサイドのおもちゃは  
日に日に増え…

そしてついには  
こんなモノまで  
買ってしまおう始末…



ネット通販で  
大人のおもちゃも  
買うようになった…

どんどん  
エスカレートする性欲に  
不安と自己嫌悪を  
感じながらも結局  
性欲が勝ってしまう…

そんなダメな自分を  
旦那様に叱ってもらう  
ことを妄想して…  
結局またオナニーを  
繰り返す日々…



今このスカートの下  
真優のおまんこは…  
旦那さまの目の前で…  
おもちゃに遊ばれて…

おもしろしたみたい  
にびしょびしょで  
ヌルヌルなんです…

ああ…旦那さま…  
叱ってください…  
私は…真優は…  
悪い子なんです…



先輩が  
帰ってから…

夕食の後  
旦那さまのお部屋に  
お茶をお持ちする  
この時間は…

旦那さまと  
2人きりになれる  
私の大切な時間…

私がこんなに淫乱で  
悪い子なのを…  
旦那さまに知られたら…  
おしおきしてもらえるかな…

えっちなお汁の  
おもらしを叱られて…  
平手でお尻を叩かれて…  
ごめんなさいごめんなさいって  
泣きながら謝って…

それです…  
おしおきが終わったなら…  
痛いのでよく我慢したねって  
ぎゅーって抱きしめて…  
たくさん撫でてほしいの…

おもらし…  
そっか…

おしっこ  
おもらしして  
叱られるのも…

なんだかすごく  
エッチだよ…

こういうエッチな  
コトに対する  
好奇心と行動力は…

自分でも  
呆れちゃうくらい…

でもやっぱり  
やめられない…

私ってきつと  
どうしようもない  
本当の変態なんだ…





旦那さまの目の前で  
おしっこするんだ…

ああ…  
今から私…



生理のナプキンと  
あんまり変わらない  
感じだけと…

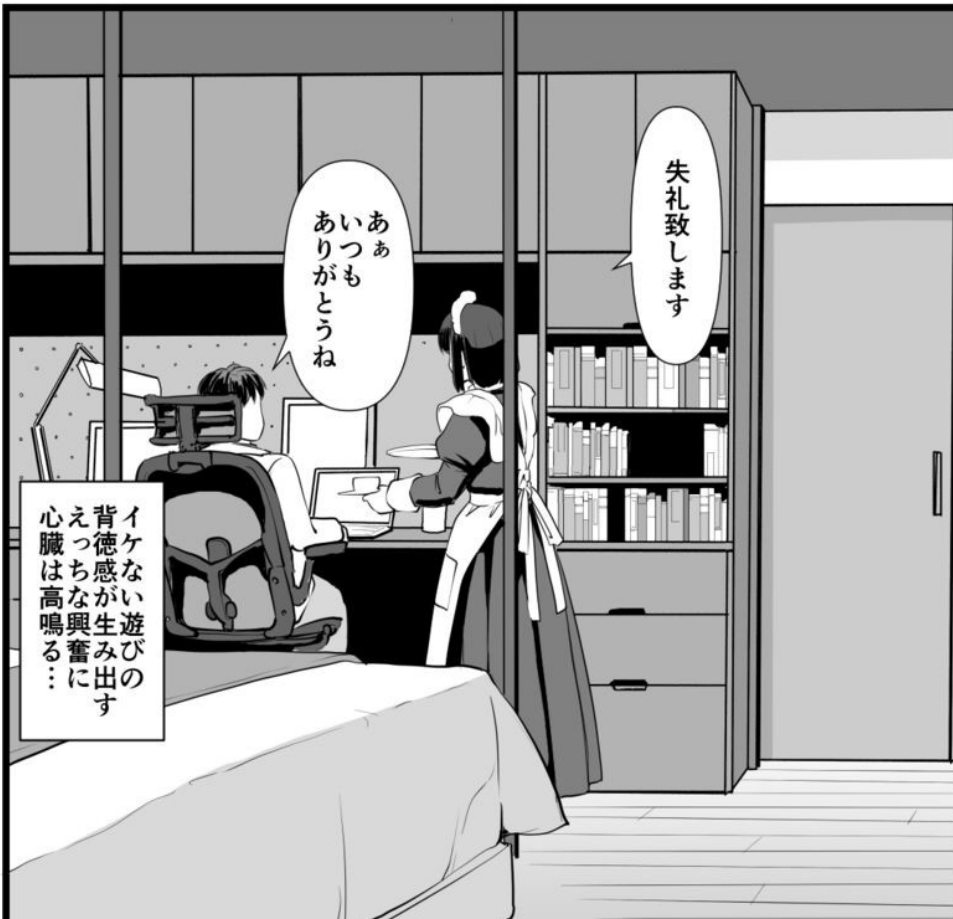
こんなので  
ホントに  
大丈夫なのかな…?

フェルトッ



子供みたいにおも  
らしてあげたい  
しっちゃんだ…

さつきからずっと  
我慢してるおしっこ…



失礼致します

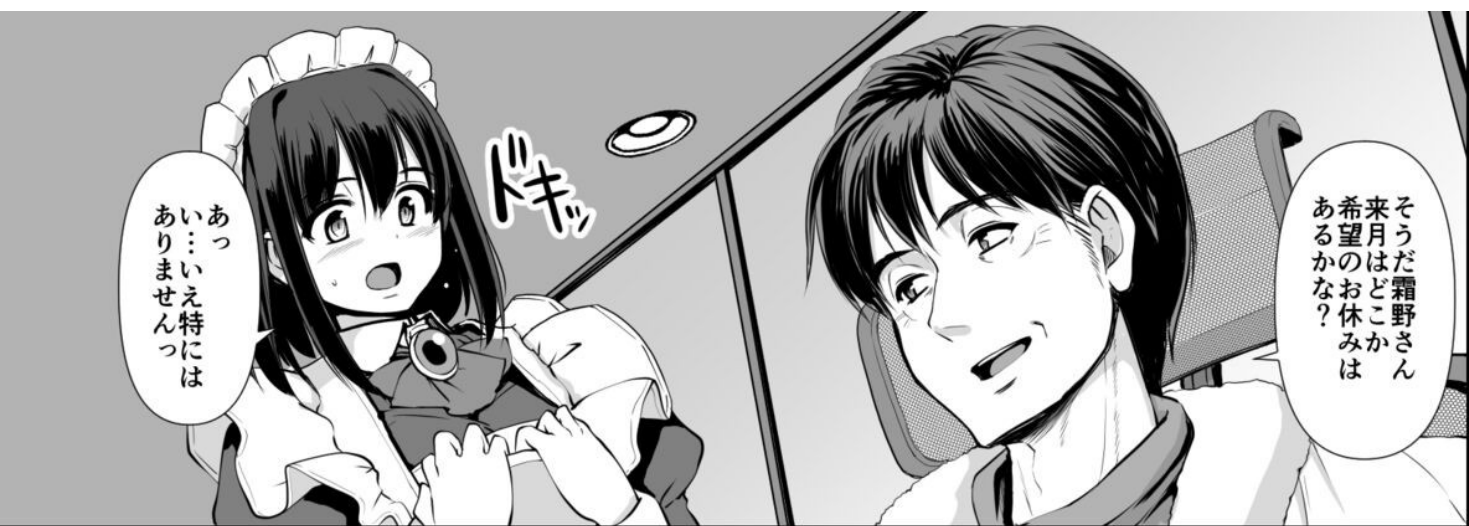
ああ  
いつも  
ありがとうね

イケない遊びの  
背徳感が生み出す  
えっちな興奮…  
心臓は高鳴る…



旦那さま  
コーヒーを  
お持ちしました

こうして  
今日も自分の  
曲がった性病と  
強い性欲に  
自己嫌悪しつつ…



そうだ霜野さん  
来月はどこか  
希望のお休みは  
あるかな？

あっ  
いいえ特に  
ありませんっ



有給は遠慮なく  
使ってくださいね  
良いんだからね

友達と遊びに  
行くくらい理由で  
全然構わないから

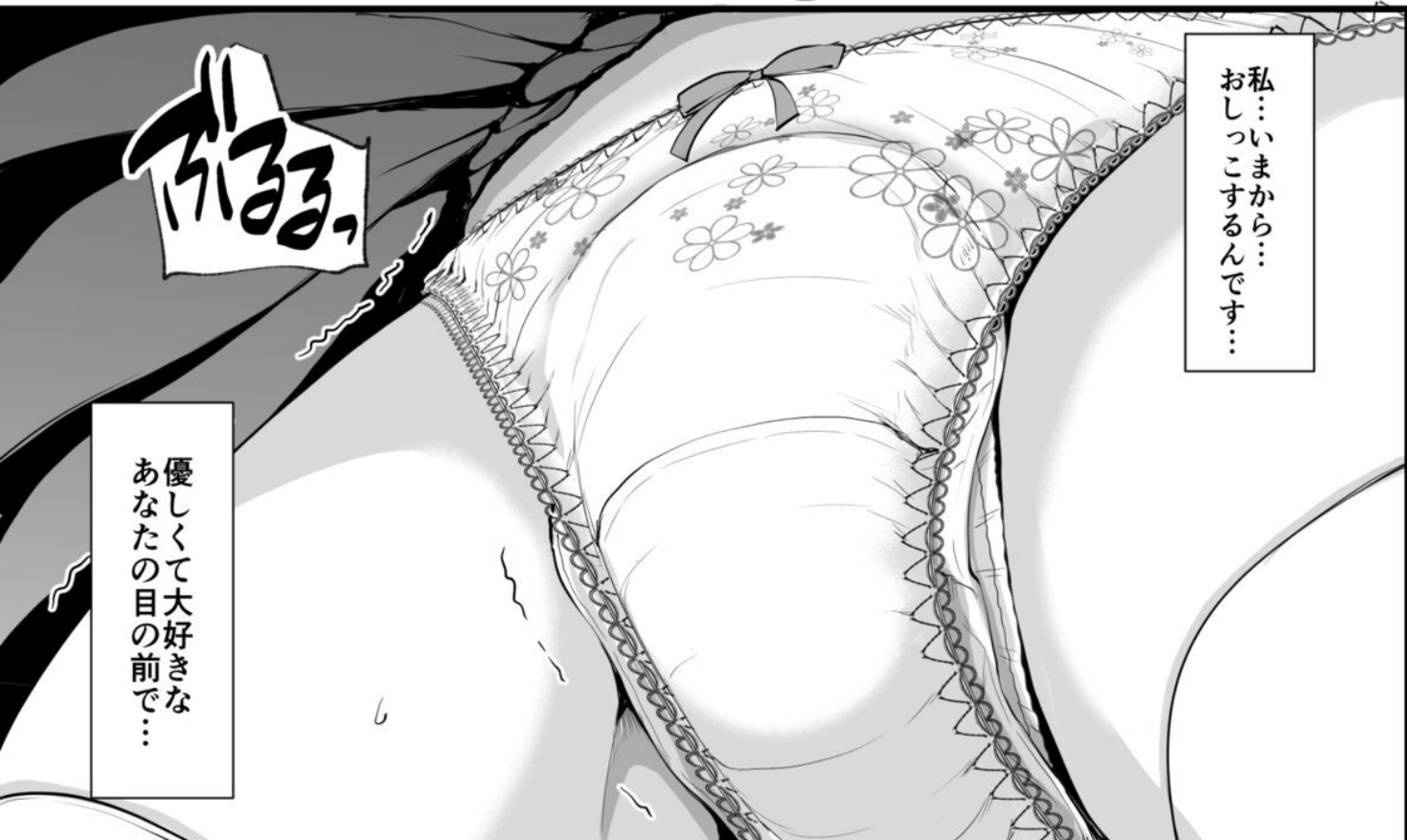
こんな山奥で働かせて  
不自由させてごめんね

そ…そんなっ  
とんでもないですっ

旦那さまも  
こうして  
優しく接して  
下さいますし…

私…  
ここでのお仕事  
大好きですから…

私の方こそ  
ごめんなさい  
旦那さま…



私…いまから…  
おしっこするんです…

優しくて大好きな  
あなたの目の前で…



ああだめっ…  
止まらないっ…

ごめんなさい  
旦那さま…



私…  
ホントにおしっこ  
しちゃってる…

あつ…あつ…  
出てる…  
おしっこ出てる…

旦那さまのっ…  
大好きな男の人の  
目の前でっ…!!

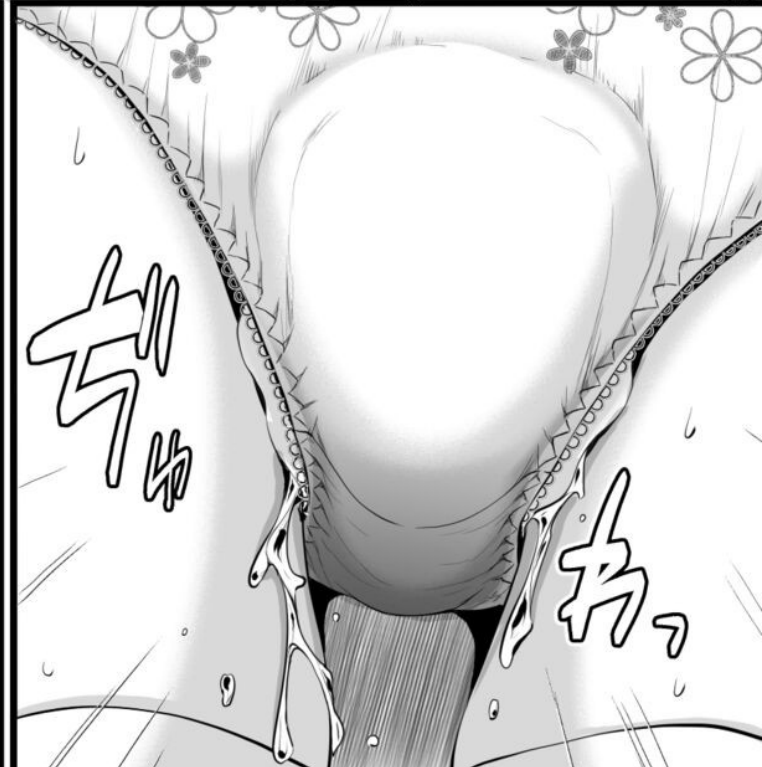


どうかこんな  
悪い子の真優を  
睨ってくださいっ…

おしおきして  
くださいっ…



えっ





こんなバカなこと  
するんじゃない  
なかつたっ…!!

これじゃ絶対  
旦那さまに  
嫌われちゃうっ…!!

大丈夫  
霜野さんっ!?

怪我はないかいっ!?

は…はっ

よかった…

どこか痛かったら  
すぐに言うんだよ

女の子って  
驚いたりすると  
結構簡単に  
漏れちゃったり  
するよね

ウチの嫁さんも  
そんなこと言ってたよ

ああ…すごいな…  
やっぱり大人だな…  
旦那さま…

すぐ拭いちゃうから  
少し足上げて

おもらしした私が  
恥ずかしくないように  
自然に優しく  
フォローしてくれてる…

私のエッチな  
イタズラの事なんて  
知らない旦那さまの  
この優しさは…

下心なしの  
本物の優しさだ…

こんなに優しい  
旦那さまなら…

こんなに  
エッチで変態な私も…  
きつと許してくれる…

まるで子供扱いで  
女の子として意識して  
もらえてないのは  
ちょっと寂しいけど…

やっぱり私…  
この人が好き…

やっぱり私  
この人に…

旦那さまに  
おしおきされたい…!

よし  
これで大丈夫だ

あとは片付けとくから  
今日はもうお風呂に入って  
休みなさ...

ごめんなさい  
旦那さま...

もうこの気持ち...

私...  
本当は...

抑えきれないよ...!

旦那さまに見つかって...  
叱られるの想像しながら...

わざとおもろし  
してたんです...

ム

ム



私もう少し若ければ  
自分に好意を持っているのだと  
なんの迷いも無く手を出す事も  
出来ただろう……

だが歳を取るごとに  
人間は疑り深く……  
臆病になる……

私のような老いた中年に  
好意など抱くはずがない……  
なにか裏があるかもしれない……

それに私には一応  
妻も子もいるのだ……

そうして性欲と理性の狭間を  
ぐるぐると巡る私の思考は  
やがて一つの答えに辿り着く……

……つまりこれは世にいう  
「パパ活」やら「援助交際」の  
誘いの一種なのではないか……

こんな清纯無垢に見えて  
この子は相当な好色で  
実は結構色々遊んで  
いるのかもしれない……と

こんな中年に  
身体を許すのも  
前に見た派手な下着も  
それならば合点がいく……

そう思えば……  
無理に紳士を気取って  
この子にこれ以上  
恥をかかせる必要もないし  
遠慮する必要もない……

こうして年甲斐もなく  
あっけなく性欲に  
支配された私の思考は……

そんな些か乱暴で  
自分に都合のいい推論に  
易々と帰結してしまった……

霜野さんが  
そんなに悪い子  
だったなんて……

驚いたな……

私に隠れて  
いつもこんな  
変態じみた遊びを  
していたのかい？

となれば私も  
ただ演じれば  
良い……

は……はい……

それは確かに  
お仕置きが  
必要だね……

官能小説のように  
メイドを調教する…

一体どんな  
お仕置きを想像して  
期待していたのか…

霜野さん…  
いや…

真優はちゃんと私に  
話してくれるよね…?

性に歪んだ  
主人の姿を…

…!!

はい…  
旦那さま…

わ…私…いつも…  
憧れてたんです…

思えば  
若い頃の妻とも…

こんな風に…  
エッチなイタズラを  
旦那さまに知られて…

こんな風に優しく  
問い詰められて…

よくこういう趣向の  
主従プレイをした…

旦那さまのお膝の上で…  
いっぱいお尻を叩かれて…

そんな私の趣向など  
まるで知らぬはずの  
この子は…

悪い子の真優を  
たくさん舐めて  
欲しかったんです…!!

偶然にも私の性癖に  
深く突き刺さる欲求を  
投げかけてきた…

そうか…

これはただ  
メイドと主人の  
関係の上での行為…

それじゃあ…

決して  
愛する妻への  
裏切りではない…

こうして  
肉欲に抗えず  
犯す罪から  
目を逸らしながらも…



今夜はたっぷり  
お仕置きして  
あげよう…

久方ぶりに  
父や夫などではなく  
ただ一人の男となる事に  
私の胸は  
強く高鳴っていた…

さあて真優…

真優がどんな悪戯を  
したのかまづは自分で  
告白してもらおうか…

それは…  
わ…私が…

旦那さまにお仕置き  
されたくて…

旦那さまの目の前で…  
いっばいおしっこを…  
お…おもらしました…  
悪い子だから…です…

そうか…  
それなら私に痛いも  
お仕置きをされても  
仕方がないな

は…  
はいっ…

君は今どうして  
スカートをまくられて  
私の膝の上に乗せられているのかな？





あぁっ：  
本当に旦那さまに  
お仕置きして  
もらえるなんて：  
：

み：淫らで  
悪いメイドの：  
真優のお尻を  
たくさん叩いて：  
：

いっばい反省：  
させてくださいっ！！

それで：  
そのあと今夜はきつと：  
セックスしちゃうんだ：  
：



真優は今  
いくつなのかな？  
3歳かな？  
それとも5歳かな？

絶対に一生  
忘れられなく  
なっちゃうよお：  
：

ううっ：  
もう：私：  
18歳ですう：  
：



大好きな人に  
捧げる初体験が：  
：

これは  
すごいな：  
：

こんな変態  
えっちななんて：  
：

私の前で  
こんなにおもらしを  
していたなんて  
まるで子供じゃないか：  
：



は：はいっ

あ：あぁっ：  
ずっいに：私：  
ずっと憧れの：  
：

お願：  
いしますっ：  
：



それじゃあ  
これから：  
：

真優がしつかりと  
大人の淑女に  
なれるように  
躰をするからね：  
：

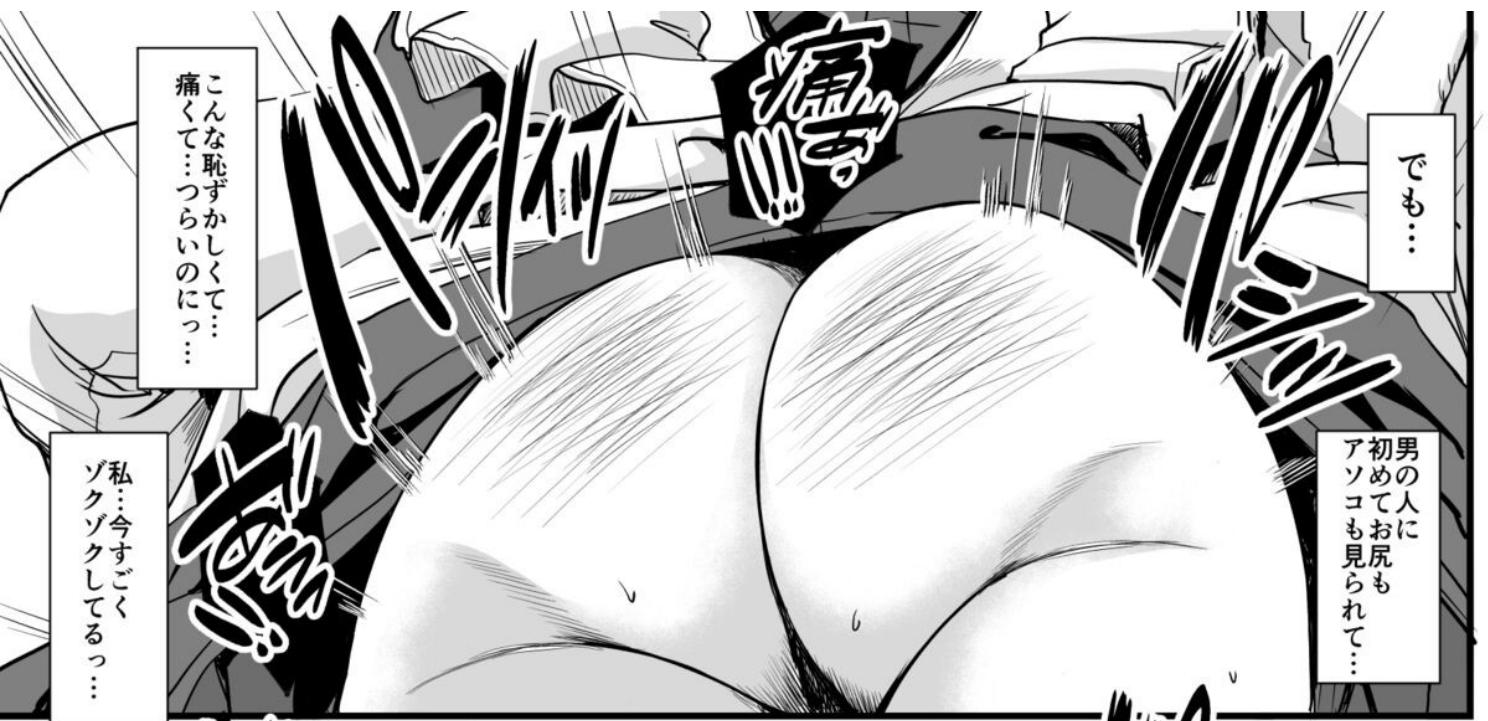
お仕置きして  
もらえるんだ……!



痛いっ……!

思ってたより  
ずっと痛いよっ……!





でも…

男の人に  
初めてお尻も  
アソコも見られて…

こんな恥ずかしくて…  
痛くて…つらいのにつ…

私…今すぐ  
ゾクゾクして…



だってこの痛みは  
変態をこじらせた  
えっちなでダメな私を…

軽蔑しないで  
くっつけて…

旦那さまからの  
愛情なんだから…!!



反省い…  
うて…まずっ…  
うっ…ううっ…

痛い…  
我慢して…

旦那さまに…  
ほめて…  
もらうのおっ…



まったく…  
躰をしていうの  
最中だというのに  
随分と鳴き声が  
やかましいな…

真優は本当に  
反省できてる  
のかい？

ああ…  
本当にこの子は…

そうか…  
それじゃあ  
あと十回我慢したら…

今日の真優の悪戯は  
許してあげるとしよう…

キチンと自分で  
数えるんだぞ…？

随分と私のような男の  
悦ばせ方を心得ている…

その涙で歪み  
怯えた表情…

はい…  
旦那さま…

が…  
がんばりますう…

その中にどこか淡く  
期待を抱く潤んだ瞳…

こんな逸材が  
私のメイドを  
していたなんて…

私はなんと  
幸運な男なのだ…！



お尻叩かれるのが  
こんなに痛くて  
つらいなんて...

さんっ...!!  
うううっ...!!

パンッ...

ズン...



うううっ! 痛いっ!  
お尻の皮が裂けちゃい  
そうだよおっ...!!

ごおっ!!  
あうううっ...!!

ズン...

ガクッ



やだやだやだやだっ!  
やっぱりこんなの  
もう無理っ...!!

やあああもおっ!!  
痛いッ!! いたいっ!!

いたっ...!  
いたっ!

ぼたっ



どうした？  
やっぱり真優は  
反省できない  
悪い子なのかな？

うぐっ…  
えううっ…  
ごめんなさいいっ…

できますっ…  
がんばります  
からあっ…

つづけて…  
くださいい…！

よおした  
わかった  
続けよう



はちいっ!!  
んうううう!!

ううっ…  
顔は涙と鼻水で  
ぐしゃぐしゃで…

でも…  
頑張らなきゃ…

それじゃあ  
最後の一回だ

キチンと  
数えるんだぞ

はっ…  
はいっ…！



子供みたいに  
泣き叫んで…

きいたっ!!  
あぁっ!!  
きゅううううう!!

こんな情けない姿を  
大好きな旦那さまに  
見られるなんて…  
死ぬほど恥ずかしいよお…

これが私の  
望みだったんだもの…



これは私だけのための  
お仕置きなんだものっ…!!



こんなに泣いて…  
こんなに叫んだの…  
きつと本当に  
子供の時以来だな…

すごい…  
頭がビリビリ  
しびれてる感じ…



あつ…!!

痛い我慢して  
よく頑張ったね…

しっかり罰を受けて  
悪戯を反省して…

真優は本当に  
良い子だ

ああ…  
ダメです  
旦那さま…

今あなたに優しく  
抱き締められたら…

あんなに  
痛くてつらい  
お仕置きで  
泣き喚いたあとに…

私は本当に…

大好きな人から  
こんなに甘い甘い  
ご褒美を貰ったら…

旦那さま無しでは  
生きられなく  
なっちゃいます…



今夜はこれでおしまいなんて...

歳の差なんて関係ない...

トクッ♡

ああ...好き...好きです...旦那さま...



旦那さまに好きって言われたい...

旦那さまに好きって伝えたい...

私の全てを...

もっと捧げたい...



少女のその手が私のモノに触れた瞬間私は...

心底安堵した



絶対やだよ...

うぬぼ  
身勝手な話だが…

万が一にもこの少女が  
私に身体を許す理由が  
私への恋愛感情で  
あるならば…

真優…ご奉仕して  
くれるのかな？

はっ…はい…！  
が…がんばりますっ！

とても私には  
それを受け止める  
自信がない…

この少女が  
慣れているのなら  
それは私にはとても  
都合が良かったのだ…

そ…それでは…  
失礼致します…

どうしよう…

……！！

私…  
本物見るのにも  
初めてなのに…

ドキ  
ドキ  
ドキ

ドキ  
ドキ  
ドキ

ドキ  
ドキ

やっぱり正直に  
経験無いって  
言った方が  
良いかな…

でも旦那さま  
優しいから…  
それ聞いたら  
やめちゃうかも…

それは  
絶対やだ…

今まで  
いっぱい見てきた…

と…  
とにかく  
やってみよう…!



えっちなビデオの  
とおりに…!



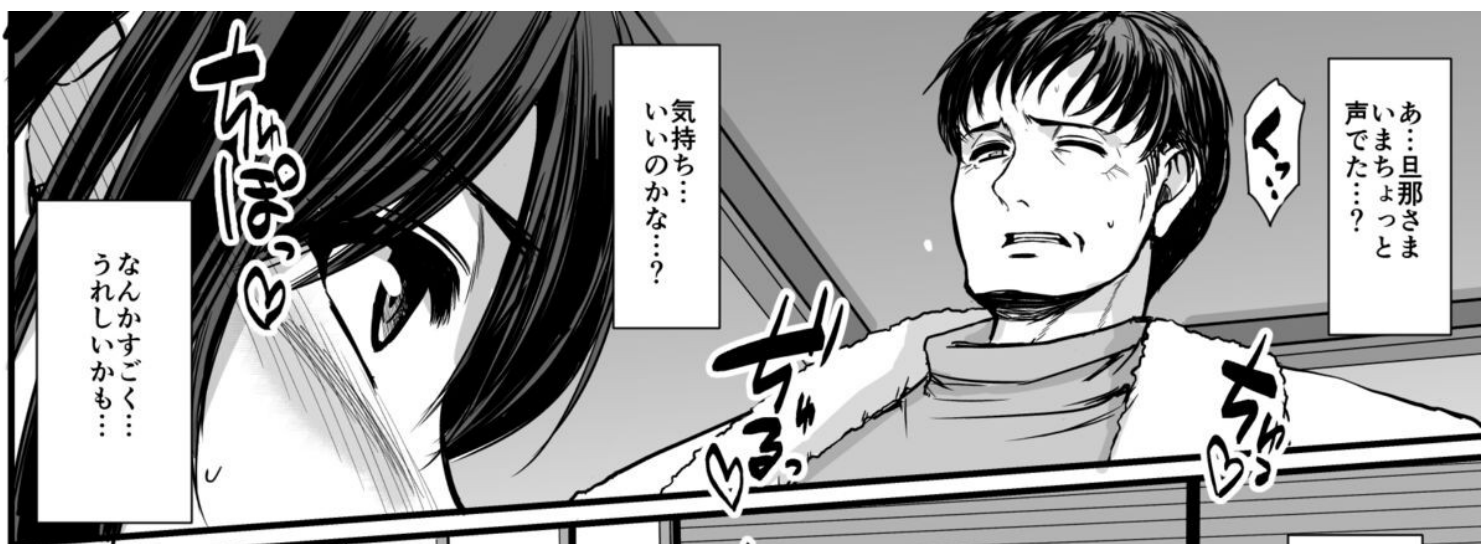
こうやって  
お口に啜えて…

ちゅぽちゅぽ  
前後に動かせば  
いいんだよね…

今まで何度も  
想像してオナニーした  
メイドの  
フェラチオご奉仕だ…

旦那さまの  
おちんちん  
フェラしてる…

すごい…  
いま私…



あ…旦那さま  
いまちよつと  
声でた…?

気持ち…  
いいのかな…?

なんかすごく  
うれしいかも…



大好きな人を  
気持ちよくって  
あげられるって…

こんなに心が  
満たされる  
ことなんだ…

もっと…  
もっと旦那さまに  
喜んでもらいたいよ…

もっと…  
もっと気持ちよく  
なってもらいたい…





思わず苦悶の声が  
漏れしまうほどの  
この手荒な亀頭責め…

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

正直言って  
あまり上手では  
無いところを見ると…

♡♡♡♡♡



さっきの  
積極的な  
割に…

♡♡♡♡♡

あ！！

思ったほど経験は  
無さそうだな…

少し期待外れな  
気もするし…

♡♡♡♡♡

ほっとした  
気もする…

♡♡♡♡♡



こんな年頃の少女の  
初めての男になるような  
勇気はないが…

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

他の男の色に  
染まりきっていても  
また口惜しい…

♡♡♡♡♡

我ながら本当に  
身勝手なものだ…

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



こ...  
こうでしょうか...

はは...  
はいっ

ああ  
上手だよ



身勝手ついでに  
どうせなら...

いい子だ  
真優...

手も一緒に  
使ってくれるかい...?

爪の先まで私の色に  
染めさせてもらおう...

そうしたら  
もっと気持ちいいな



そう...  
上手いぞ真優...

舌はペニスの裏側に  
這わせてくれると  
気持ちがいい...

あ...あひがほお  
ごあいまふう...

これならこの子は  
すぐに私好みの奉仕を  
身に付けるはずだ...



それじゃあ  
また啜えて...

そう...口と手を  
同じタイミングで  
上下させて...

普通の仕事ぶりと  
同じように素直で従順...  
そして飲み込みも早い...

先端と竿の部分を  
同時に刺激するんだ...

日常的な肉体奉仕を  
嬉々として請け負う  
年若く可愛らしい  
メイドの少女…

そんな  
ポルノの中の夢物語を  
私は今現実  
に抱もうとしている…

ああ…本音を言えば  
今すぐにでも  
この細腰を  
思い切り抱み…

羨を受けて赤く腫れた尻に  
この怒張したペニスを  
ねじ込み腰を打ち付けたい…

だが今はそれ以上に  
この少女の口内に私の  
精液を注ぎ込みたいという  
欲求に駆られている…

毎日私に挨拶をして  
笑みを浮かべていた  
その可憐な口唇に  
無遠慮に精を放ち…

放たれた濃く  
生臭いザーメンを  
この少女の喉奥に  
飲み込ませる…

そんな欲に狂われ  
この拙い口淫奉仕でも  
徐々に射精衝動が  
昇り詰めてくる…





そろそろ  
イキそうだ…

真優…精液  
飲んでくれるか…?

はっはっはっ

ふあっ…  
はっ…はっ…



だ…  
大丈夫ですっ…!

あーもうっ…!!  
私ったらまたそんな  
見栄張ってええっ…!

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ  
はっはっ  
はっはっ



精液…  
ちやんと飲めるかな…  
どんな味するんだろ…

でもどんな味でも…  
大好きな旦那さまが…  
なっばい気持ち良くなっ  
た証の精液が…

私の身体の中で  
なんだかすごく…  
えっちで嬉しい…

くたさい…  
旦那さま…

私で…  
射精してっ…

はっはっ  
はっはっ  
はっはっ

はっはっ  
はっはっ  
はっはっ

はっはっ  
はっはっ  
はっはっ

はっはっ  
はっはっ  
はっはっ

はっはっ  
はっはっ  
はっはっ



えっちなビデオも漫画も全部うそだよお!!!

こんなの美味しいなんて...

でも旦那さま...期待してるんだ...

私が...このマズいのを飲むことを...



で...出てる...脈打ったびに...すごい勢いで...

うええっ!!! な...なにこれっ...青臭くて...苦しいっ!!!



こんな自分に  
従順な若いメスを  
目の前にして…

それじゃあ  
ベッドに上がって…

足を開いて  
見せなさい…

は…  
恥ずかしいです…

旦那さま…

理性を保てるオスなど  
居るものか…!

おわぁ♡





おもらししたアソコ  
舐められちゃうの  
死ぬほど恥ずかしいけど…

全然  
気持ちいいっ…!

ほっ♡

今度は…  
私のおしっこや  
愛液が…

旦那さまの  
身体の中に  
入っていくって  
考えたら…

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

こんな  
変態だよっ…

やっぱり私  
おかしいよ…

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ドキドキして…  
興奮しちゃう…



ううーっ…  
でもでもっ…

おかしくなるくらい  
気持ちいいよおっ…!



先程抱き締めた時に  
気づいたが…

やはりブラを  
してない…



この子にとって  
軽い露出プレイの  
つもりだったのだ  
とは思わが…

せっかく私が  
制服に選んだ  
私好みの  
メイド服を…



脱がさずに胸を  
責められるのは  
好都合だ…

そこッ…  
すきっ…  
あぁっ♡

好きですうッ♡  
旦那さまぁ♡



快感に身をよじる  
腰を押さえつけ…

敏感な突起に  
優しく断続的に  
刺激を与えれば…

下腹部は  
ビクビクと痙攣し  
可愛らしい喘ぎ声は  
徐々にトーンを  
上げてゆく…



そろそろ  
絶頂が近いな…

それじゃあ  
ナカを同時に  
刺激して…



濡れ方の割に  
妙にキツイな…

あつ…  
んうっ…!!

…いやまで…!?



一度イカせると  
しよう…

ひあつ…!?

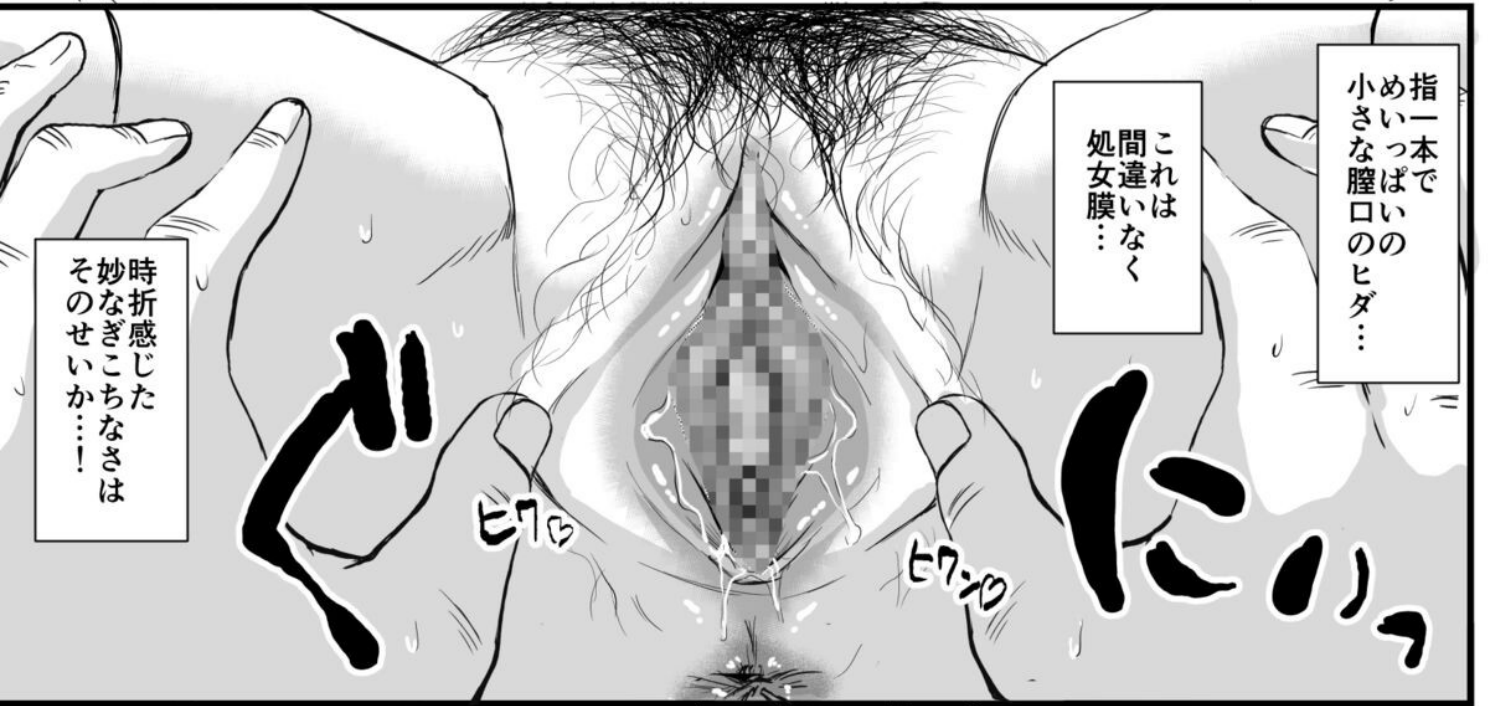
んっ…?



もしかして  
この子…

ゴ  
ッ  
ッ  
ッ

はじめて  
処女  
じゃないか…!!



指一本で  
めいっぱいの  
小さな膣口のヒダ…

これは  
間違いなく  
処女膜…

にん  
び

時折感じた  
妙なこちなさは  
そのせいかな…!!



じゃあ  
この子は…

私のような中年男を  
初めての男に  
選んだというのか…!!



気の弱い子だし...  
きつと成り行きで  
流されてしまっ  
てるんだ...

こんな処女喪失なんて  
きつと後々心の傷に  
なってしまうかも  
しれない...



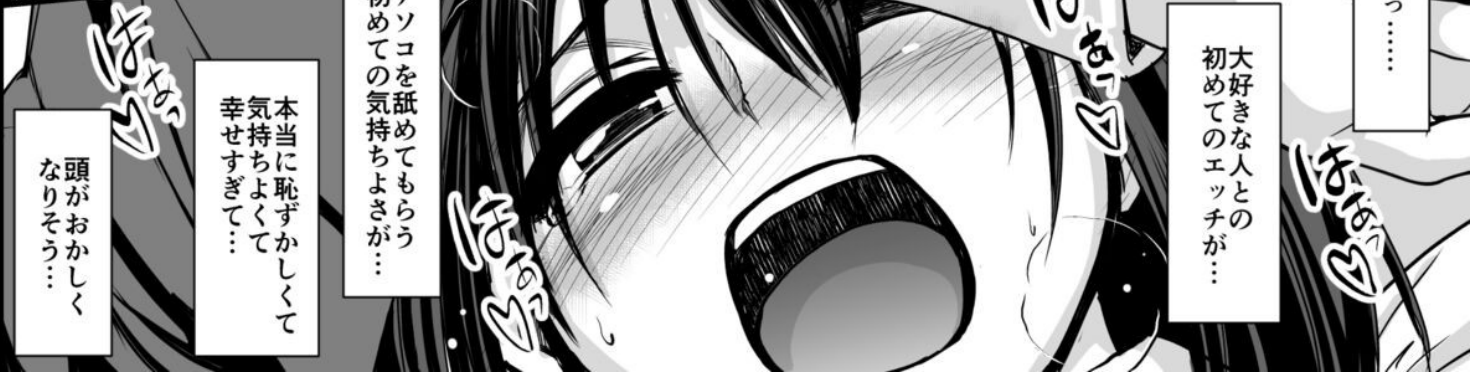
いやまさか...

そんなハズはない...!



その事実...

とても私には  
背負えない...



あぁっ.....

大好きな人との  
初めてのエッチが...

アソコを舐めてもらう  
初めての気持ちよさが...

本当に恥ずかしくて  
気持ちよくて  
幸せすぎて...

頭がおかしく  
なりそう...



あつ…ダメっ…  
そんなこと  
考えてたら…

あつ…あつ…  
もおつ…  
ダメですっ…!

もおつ…!!  
きちやいますっ…!!  
あああつ…!!

来るっ…  
来ちゃうっ…!

すごい強いっ…!!  
おっきいのくるっ…!

もうダメッ  
もう何も考えられないっ…!

旦那様のお口で  
おまんこペロペロ  
されてイクのっ…!!  
イツちゃうのおっ…!

気持ちいいっ!  
気持ちいいっ!

おまんこイキたい  
おまんこイキたい  
おまんこイキたいっ!

ああつ!  
おまんこイク  
おまんこイク  
おまんこイクっ…!



あー

あーあーあー

あーあーあーあー

あーあーあーあー



もうイッて  
ますからあつ……!

ああっ……あつ……  
イッてる……!



オナニーじゃ  
こんなのもむりだよ……

くせに……  
なっちやいそお……



すごいっ……  
あたまがチカチカする……



イケた  
みたいだね……

気持ち良かったかい?

は……はいっ……

は……はいっ……



しないんですか…?

そ…その…  
最後まで…



それじゃあ…  
今夜はこれくらいに  
して…

この続きは  
また今度にしようね…

えっ…



大事な私の…

特別なメイド  
としてね…



焦ることはないよ…

今日は少し  
突然過ぎたし…

明日からもまた  
真優にはしっかりと  
ご奉仕して貰うんだから…

はい…♡

ちよつと  
残念だったけど…

正直ちよつぱり  
ホツとした…

キョ/ッ♡

私の  
旦那さまへの憧れは  
やっぱりちやんと…

純粋な恋愛感情  
だったんだって  
気付いてしまったから…

明日から…  
私もつともつと  
がんばりますね…!!

旦那さまに  
よろこんで  
頂くためにっ…♡

ちゃんと旦那さまに  
大好きって気持ち伝えて  
大好きって言ってもらって…

両思いで  
恋人みたいにな  
セックスしたいって…

思っ  
て  
しま  
った  
から…



旦那様：その…  
せめて新しいシートに  
お取替えを…

今夜はもう遅いから  
自分でどうにかするよ  
気にしないで  
早く休みなさい

そ…それでは  
お言葉に甘えて  
今日はこれで…

おやすみ  
ゆっくり休んで

はいっ  
おやすみなさい  
旦那様！

少々残念な  
気持ちもあるが…

正直なところは  
ホッとした…

まさか「お仕置き」なんて  
アブノーマルな行為を  
男性経験もない少女が  
私のような中年に  
懇願してくるなんて…

夢にも思わない  
じゃないか…

彼女の  
本当の気持ちは  
わからない…

性的な興味が  
強いことは  
間違いないから…


もしかすると  
恋愛感情など微塵もなく  
セックスもただ  
経験してみたいだけ  
なのかもしれない…

だがせめて  
初体験くらい  
同世代の男子と  
普通の恋愛をして  
経験して欲しい…

彼女の後悔を  
背負うのが嫌なのだ…

正：いや  
私は…  
私に言う…

いつの日か  
彼女にとつて  
怖いものになるのだ…




彼女に嫌われたくないのは  
彼女への親心からなのか…

それとも年甲斐もなく  
恋心からなのか…

とにかく私には  
彼女の純粋な気持ちに  
向き合う覚悟も  
自信もなく…

「特別なメイド」なんて  
都合のいい言葉を盾に  
逃げ出したのだ…



ドキドキして  
眠れなかった…

大好きな人に  
身体を委ねて  
えっちなこと  
するの…

こんなにも  
満たされること  
だったなんて…

幸せだった…



「特別なメイド」…

その言葉は  
この時の私には…

とても特別な言葉に  
思っていた…

# あとがき。

最近よくテレビで吸水パッドのCMやってるじゃん、アレ見ると「ああ、女の子って割と軽率にパンツにおしっこ漏らしてるんだよね」ってちょっと興奮しちゃうんだよね(最低なんか噂に聞くとところによると男性が排尿時に「力を込める」のに対して女性は「力を抜く」という構造や膀胱から尿道口までの距離の物理的短さが原因でふとした時にちょろっと漏れちゃうコトは本当によくあるんだとか(本編セリフの補完終了)

…とまあそんな人体の不思議はさておきメイドさんにパッドでおもらしさせるイラストを描いたらわりと評判良かったのでそのまま漫画を描いちゃおうってなったのがこのお話の始まりでした。

いやーホントは「メイドのおしごと。」を完結させる前に息抜きがてら明るく楽しくサクッと短ページで3ヶ月位で完成させる予定だったんだけど、「メイドのおしごと。」の制作で罹患した話を盛り込んでキャラを作り込まなきゃ気が済まない悪い病気が出て結局グダグダとあーでもないこーでもない制作にかれこれ10ヶ月かけてまたしても50P超え前後編のこーんなめんどくさい話が出来上がってしまったワケですよしかも本番まで行かないの…！なんなんだコレ(その展開に関しては本気で相当悩んだ

「主人の前でおもらしするなんてイケないメイドにはおしおきじゃあー！(ハシーンッ！)」  
「ふええん痛いのに感じちゃうのおご主人さまあ！おちんちんほしいですうー♡(ビクビク)」

…メイドさんのお尻叩くエロ漫画なんて常識的に考えてこんなんでも良いでしょマジでいやマジで…って一向に完成しない製作期間中1000回くらい後悔と自己嫌悪しつつも時間をかけたおかげでどうにか出したい要素には納得行くまでこだわることができたと思います。

今回お話を作る上で改めて調べてみて、スパンキングっていうただお尻を叩くという行為一つでも叩きたい人、叩かれない人、性的な行為を含みたい人、純粋な罰として行いたい人、愛情の行為として受けたい人などなどいろいろと趣向があり思っていた以上に深い世界だということが学びました。

そもそも僕はやっぱりメイドさんが好きという性質上、お仕置き→スパンキングというプレイは好きだったので、FANZAでAV探しているときに「メイド」「スパンキング」のタグがついてたら喜んで買っちゃうんですけどたいていはバックで挿入しながらペチペチ軽く叩いてるだけとかいうAVだったりするので僕のマンガでは絶対に「スパンキング好き」な人たちをガッカリさせないシーンを描こうと決意して大きくページを割きました  
どうかガチの人たちにちゃんと楽しんでいただけてますように…(ビクビク

んでもってこのお話のもう一つの要は「歳の差による恋愛観の差」みたいなトコですが、要するに「メイドのおしごと。」の逆バージョンって感じです。

ただこっちのお話は女の子が高校卒業した18歳なので法的に完全に問題はないトコが違いかな、その代わりに処女というモノの価値の重さを盛り込みました。

自分は現在30代も折り返し地点になっちゃったワケですけど、もしこのまま旦那さまと同じ40代後半になって、本当に自分の娘でもおかしくない歳の女の子の処女を突然貰える展開になったら手放して喜んで美味しく頂けるかと言われたら絶対にそうはならないよなって思うワケです。

処女って万国共通で「とても大事なモノ」みたいなイメージだけど案外女の子にとっての処女喪失って「経験してみたかったから誰でも良かった」なんてエピソードも聞かしく少なくとも男女でズレはあると思うし、そこに歳の差があればなおさらだと思うワケで…

僕の漫画の哲学としてキャラクターをきちんと「生きたキャラクター」にしたいという思いがあるので今回も二人の男女の「生と性」を感じてもらえていたら嬉しいです。

このお話は次の「後編」で完結する予定です。  
その前にいよいよ「メイドのおしごと。」を完結させるので後編が出来上がる早くて来年の冬コミかな…さらにその前に今年の不調の主因である椎間板ヘルニアの手術があるのでそれを無事生き延びることができるかが前提ですが(死

さてさて果たして真優ちゃんは旦那さまと幸せな初セックスを迎えることができるのか…！  
乞うご期待…！(いつものシメ

2021/12/19  
人生横滑り。  
荒岸来歩(あれきしらいほ)



## 奥付

誌名：こじらせ処女(メイド)は躰(愛)されたい！  
発行者：荒岸来歩(人生横滑り。)  
発行日：2021/12/31